

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

滑川市まち・ひと・しごと創生推進計画【第2期】

2 地域再生計画の作成主体の名称

富山県滑川市

3 地域再生計画の区域

富山県滑川市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2005年の34,002人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年1月には32,489人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年には総人口が22,000人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、1960年の9,263人（国勢調査）から2025年1月には3,844人となる一方、老年人口（65歳以上）は1960年の1,828人（国勢調査）から2025年1月には9,757人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2000年の21,749人（国勢調査）をピークに減少傾向にあり、2025年1月には18,888人となっている。

自然動態をみると、出生数は1971年の513人をピークに減少し2024年には198人となっている。その一方で、死亡数は2024年には472人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲274人となっている。

（富山県統計課「富山県の人口」より）

社会動態をみると、2023年には転入者が転出者を上回る社会増84人（総務省「住民基本台帳人口移動報告」より）であった。このように、本市では人口の減少は、社会増を上回る出生数の減少（自然減）等が原因と考えられる。

これらの課題に対応するため、まず、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望が実現しやすい環境整備と、安定した雇用の確保、生活必需サービスの維持・充実を

通じて、安心して働き、暮らせる生活環境をつくる。

あわせて、地域資源を生かした付加価値の高い産業・創業の促進により、新しい経済循環を生み出すとともに、移住・定住や関係人口の拡大を進め、新たな人の流れを生み出す魅力的なまちづくりにつなげる。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 安心して働き、暮らせる生活環境をつくる
- ・基本目標 2 付加価値創出型の新しい経済循環をつくるとともに、新たな人の流れを生み出す魅力的なまちをつくる
- ・基本目標 3 AI・デジタル等の新技術を活用し、地域課題を解決する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.43	1.7	基本目標 1
ア	自主防災組織率（町内会 数ベース）	82.4%	85%	基本目標 1
ア	「今後も滑川市で子育て をしていきたい」と思う 小学生以下の子を持つ保 護者の割合	95%	95%	基本目標 1
イ	創業支援事業補助金等を 活用した創業件数	43件	43件	基本目標 2
イ	年間商品販売額	365億7,077 万円	450億円	基本目標 2
イ	製造品出荷額等	2,618億 7,769万円	3,500億円	基本目標 2
イ	人権・多様性が尊重され、	5件	7件	基本目標 2

	互いに支え合う地域社会を構築するための取組数			
イ	20代後半から30代にかけての人口の社会動態 (日本人)	+34.6人／年	+35人／年	基本目標2
ウ	共創ポイント事業の参加者数	—	1,000人	基本目標3
ウ	オンライン申請に対応する手続件数	100件	150件	基本目標3
ウ	スマホ等の使い方を聞ける場	3カ所	9カ所	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

滑川市ひと・まち・しごと創生事業

ア 安心して働き、暮らせる生活環境をつくる事業

イ 付加価値創出型の新しい経済循環をつくとともに、新たな人の流れを生み出す魅力的なまちをつくる事業

ウ AI・デジタル等の新技術を活用し、地域課題を解決する事業

② 事業の内容

ア 安心して働き、暮らせる生活環境をつくる事業

【具体的な事業】

担い手育成支援事業等により、認定農業者や新規就農者の支援・育成を行い、地域農業の担い手の確保を図る事業、職についていない若者の

就業に向けて、若者サポートステーションと連携を図る事業、中高年齢者の雇用促進のため、職業訓練、能力再開発等の技能、資格取得を支援する事業等。

イ 付加価値創出型の新しい経済循環をつくとともに、新たな人の流れを生み出す魅力的なまちをつくる事業

【具体的な事業】

安全安心な地場産野菜の生産を支援し、園芸作物の生産拡大やブランド化、ふるさと納税を活用した農産品の高付加価値化による商品化を推進する事業、海洋深層水を活用した鮮度管理やほたるいか海上観光等のPR施策により、ホタルイカの付加価値化を図る事業、漁業協同組合と連携しながら、漁業の担い手の確保や育成に対して支援する事業等。

ウ AI・デジタル等の新技術を活用し、地域課題を解決する事業

【具体的な事業】

スマート農業を推進するための農業用機械・施設等の導入支援、地域計画及び農地中間管理事業等の活用による農地の集積・集約化を図り、農業経営の安定化と農地の維持向上を図る事業、AIオンデマンド交通の実証実験を行うとともに、コミュニティバスの運行も含め、誰もが利用しやすい地域交通の構築等。

※なお、詳細は滑川市ひと・まち・産業（しごと）総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで